

■コメント

1. インフルエンザ

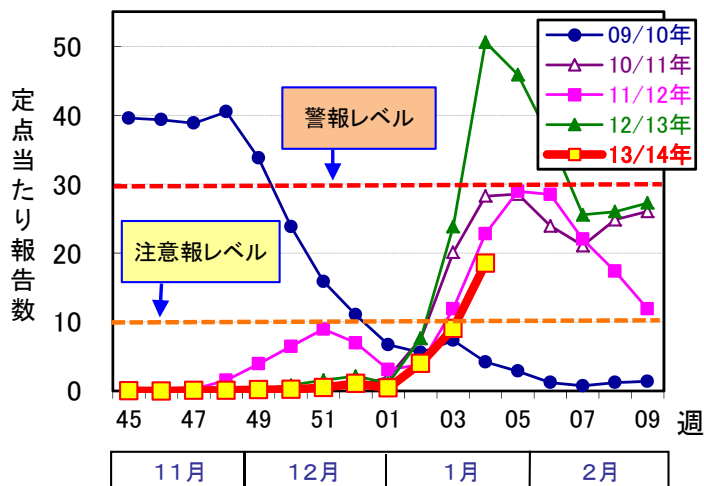
定点当たり18.5人と前週の約2倍に急増し、**注意報レベル**(定点当たり10.0人)を超えました。これから1週間～6週間のうちに流行のピークに達すると予想されます。(次頁参照)

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第4週は4件、第5週(1月27日～2月2日)はすでに10件の報告があり、これまでの累計は18件となりました。(1月28日現在速報値)

なお、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が266人、B型陽性が21人報告されています。

今後、流行拡大が予測されますので、手洗い・うがいを励行し、咳エチケットを心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	686	18.54	28.46	↑	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.64	→
	咽頭結膜熱	15	0.63	0.17	↑	眼科	RSウイルス感染症	16	0.67	0.40	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	1.40	→		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	→
	感染性胃腸炎	326	13.58	10.31	→	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.40	→
	水痘	32	1.33	1.52	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	手足口病	1	0.04	0.16	→		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	→
	伝染性紅斑	-	-	0.31	→		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	→
	突発性発しん	13	0.54	0.55	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
	百日咳	-	-	0.04	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	→
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	→						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	8	15	女性(10歳未満)・1人、男性(30歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・2人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	1	男性(70歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第52週	39	24	20	357	64	3	-	6	-	-	14	25	-	3	-	-	-	-	-	-
		第1週	15	5	15	101	19	-	-	3	-	-	8	12	-	3	-	2	-	-	2	-
		第2週	143	26	27	326	52	1	-	6	-	-	21	12	1	5	-	1	2	-	-	-
		第3週	334	4	21	317	25	-	1	8	-	-	6	15	-	3	-	-	4	-	-	-
		第4週	686	15	40	326	32	1	-	13	-	-	7	16	-	8	-	1	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第52週	1.08	1.04	0.87	15.52	2.78	0.13	-	0.26	-	-	0.61	1.09	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第1週	0.44	0.24	0.71	4.81	0.90	-	-	0.14	-	-	0.38	0.57	-	0.43	-	0.33	-	-	0.33	-
		第2週	3.97	1.13	1.17	14.17	2.26	0.04	-	0.26	-	-	0.91	0.52	0.13	0.63	-	0.14	0.29	-	-	-
		第3週	9.03	0.17	0.88	13.21	1.04	-	0.04	0.33	-	-	0.25	0.63	-	0.38	-	-	0.57	-	-	-
		第4週	18.54	0.63	1.67	13.58	1.33	0.04	-	0.54	-	-	0.29	0.67	-	1.00	-	0.14	-	-	-	-
	全国	第2週	5.51	0.52	1.62	10.96	2.17	0.09	0.13	0.46	0.01	0.02	0.31	0.84	0.01	0.85	0.02	0.04	0.27	0.03	0.08	-
		第3週	11.78	0.35	1.69	10.31	1.10	0.10	0.13	0.48	0.01	0.02	0.20	0.63	0.01	0.55	0.01	0.02	0.22	0.01	0.09	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
RSウイルス感染症	発熱(39.2) 上気道炎 熱性痙攣	1	男	2013/12/07	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	0	女	2013/12/11	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(37.5) 丘疹	不明	女	2013/12/13	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの注意報レベルからピークまでの期間

シーズン	注意報レベルを超えた時期 (定点当たり10人以上となった週)	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数	注意報レベルから ピークまでの期間
2013/14	第 4週 (1月20日～ 1月26日)		
2012/13	第 3週 (1月14日～ 1月20日)	第 4週 (1月21日～ 1月27日) 50.6人	1週間
2011/12	第 3週 (1月16日～ 1月22日)	第 5週 (1月30日～ 2月 5日) 29.0人	2週間
2010/11	第 3週 (1月17日～ 1月23日)	第 5週 (1月31日～ 2月 6日) 28.5人	2週間
2009/10	第42週 (10月12日～10月18日)	第48週 (11月23日～11月29日) 40.5人	6週間
2008/09	第 2週 (1月 5日～ 1月11日)	第 5週 (1月26日～ 2月 1日) 36.7人	3週間
2007/08	第50週 (12月10日～12月16日)	第51週 (12月17日～12月23日) 14.1人	1週間
2006/07	第 6週 (2月 5日～ 2月11日)	第11週 (3月12日～ 3月18日) 29.0人	5週間
2005/06	第 2週 (1月 9日～ 1月15日)	第 4週 (1月23日～ 1月29日) 51.1人	2週間
2004/05	第 6週 (2月 7日～ 2月13日)	第 8週 (2月21日～ 2月27日) 55.8人	2週間
2003/04	第 3週 (1月12日～ 1月18日)	第 6週 (2月 2日～ 2月 8日) 36.2人	3週間

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

2003/04～2012/13シーズンの中では、注意報レベルから流行ピークまでの期間は1～6週間で、平均すると2.7週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第4週(1月20日～1月26日)